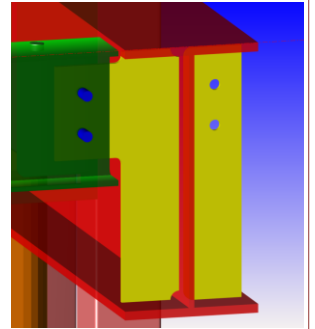


リブ(スチフナー)に穴をあけたい! ①

CAD 編集でリブに穴をあけられます。



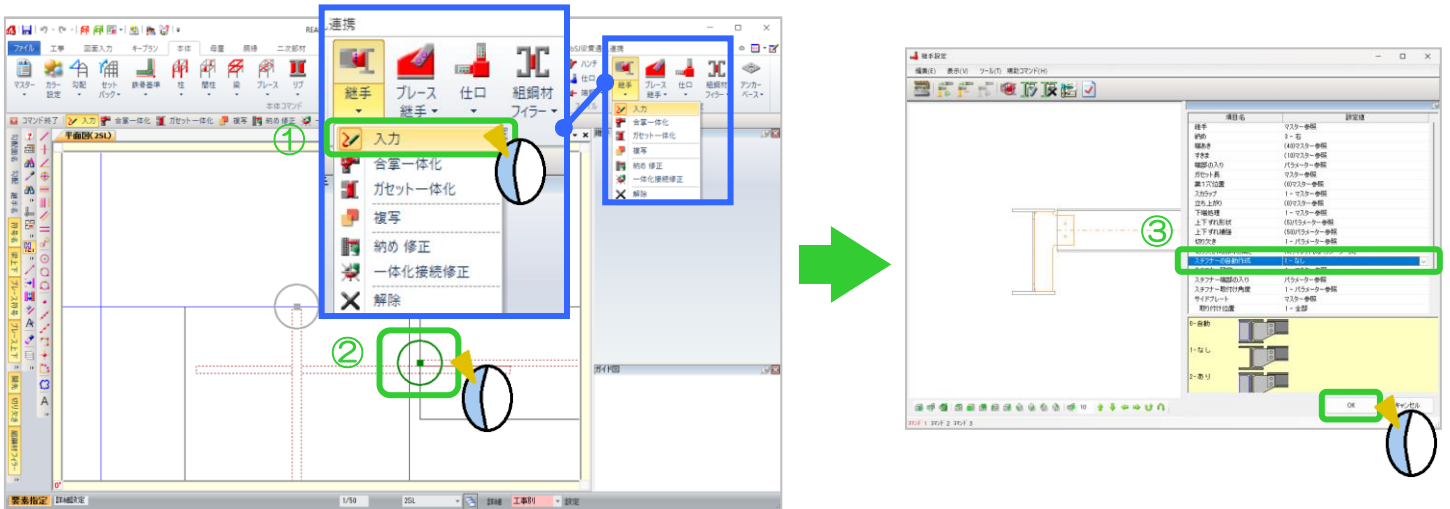
リブ(スチフナー)に任意の位置に穴をあける場合、ガゼットのマスターを参照して自動で入るリブには穴をあけることができません。

そのため、自動で入るリブを削除し、【リブ】 - 【入力】でリブを配置してからCAD 編集で穴をあけます。

メッキ抜き穴の場合は塗装設定で【2-溶融亜鉛メッキ塗装】の設定範囲に含まれた際に、【パラメーター】を参照してリブ(スチフナー)にも自動で穴が開きます。

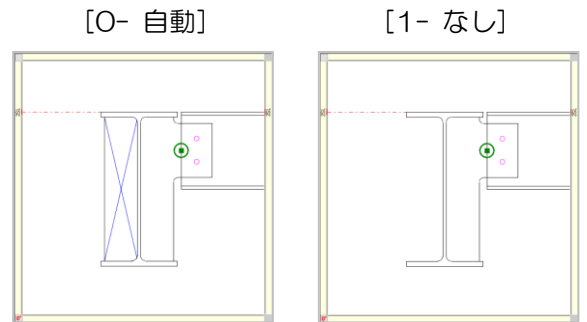
まずはガゼットのマスターを参照して自動で配置されるリブを削除します。

- ①【継手】 - 【入力】をクリックします。
- ②リブを削除する継手のグレーの丸をクリックします。
- 【継手設定】画面が表示されるため、③【スチフナーの自動作成】で【1-なし】を選択しOKをクリックします。



【スチフナーの自動作成】で【0-自動】を選択した場合、継手マスターと【パラメーター】 - 【データ作成】 - 【37.柱、梁作成関連】 - 50) 梁裏リブの最小間隔 (mm) と 52) 間柱裏リブの最小間隔 (mm)] を参照し自動でリブが配置されます。

【1-なし】の場合はリブが配置されません。パラメーターを参照せず強制的に配置する場合は、【2-あり】にします。



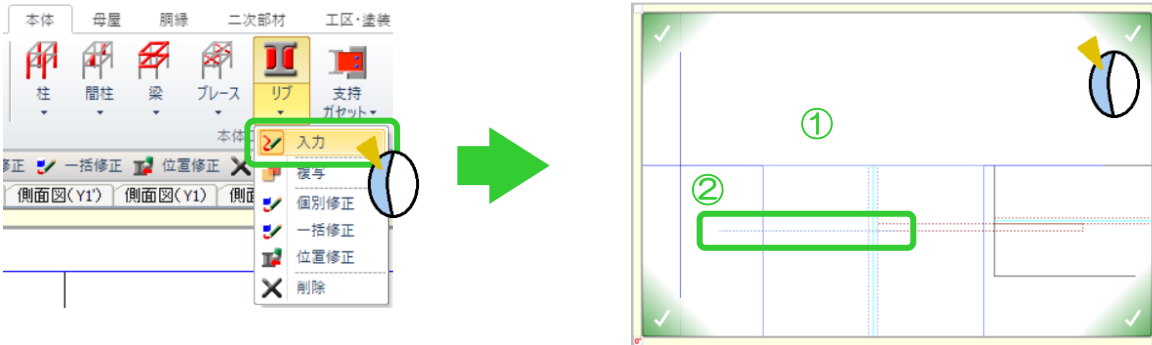
リブ(スチフナー)に穴をあけたい! ②

CAD 編集でリブに穴をあけられます。

次に、リブ(スチフナー)を配置します。

リブ配置時には基準の補助線が必要なためリブを配置する位置に補助線を引いてから、【リブ】 - 【入力】をクリックします。

①リブを配置したい梁と②補助線をクリックし、四隅の☑をクリックします。

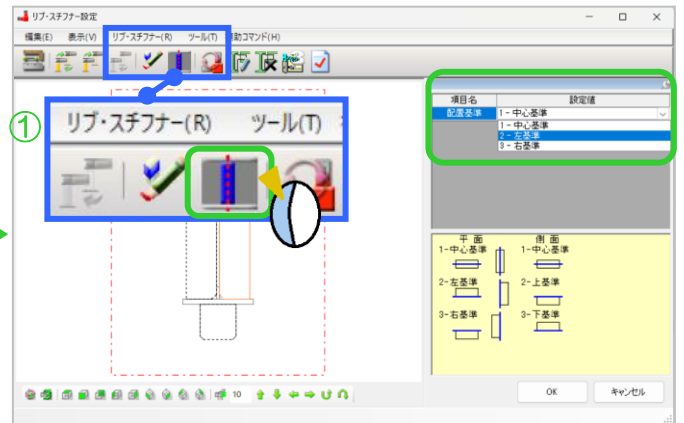
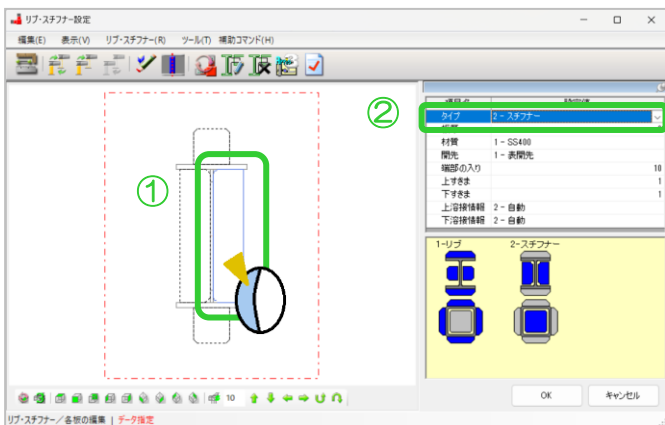


【リブ・スチフナー設定】画面が開きます。

①スチフナーを配置したい箇所をクリックします。

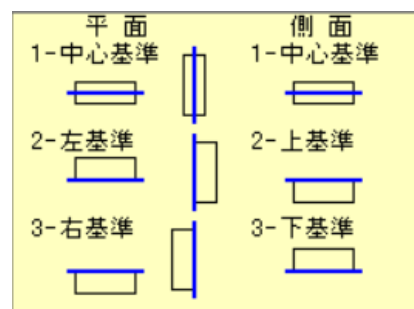
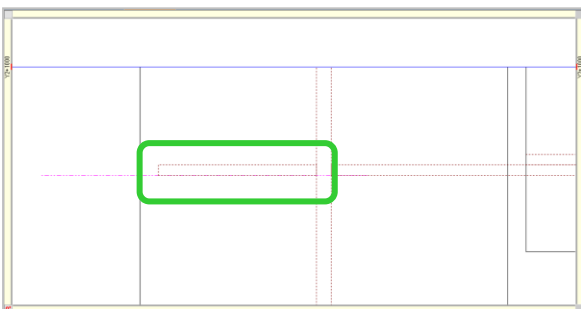
②【タイプ】 - 【2 - スチフナー】にし、板厚やすきま等を設定します。

③【リブ・スチフナー】 - 【配置基準の切替】をクリックし、リブ位置がガセットの位置に合うように配置基準を選択します。



【配置基準の切替】からリブの配置基準を選択できます。


例) 平面入力で配置基準を補助線に対して【2-左基準】にした場合



リブ(スチフナー)に穴をあけたい! ③

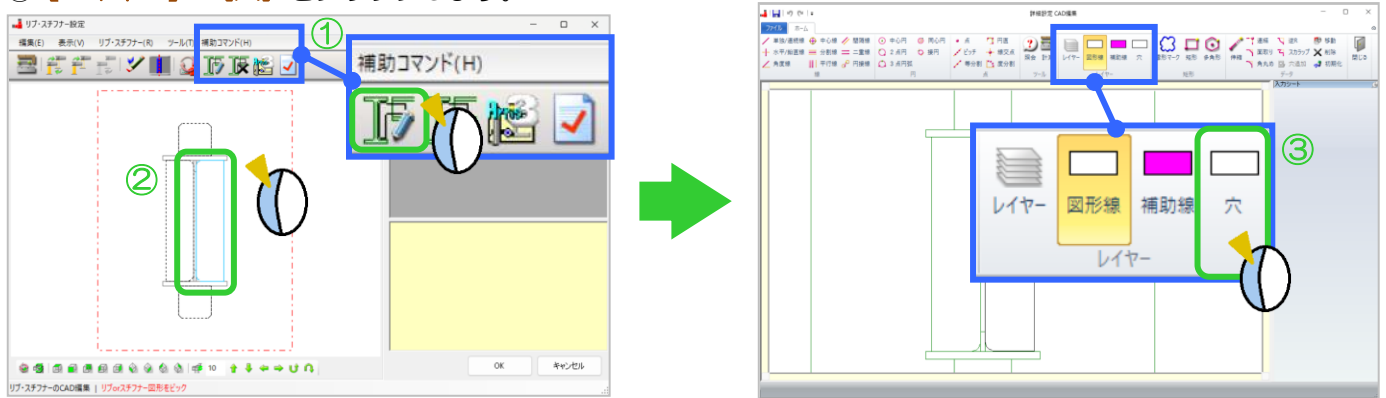
CAD 編集でリブに穴をあけられます。

最後に、リブ(スチフナー)をCAD 編集してリブ(スチフナー)に穴を開けます。

- ①【CAD 編集】 をクリックします。
 - ②CAD 編集するスチフナーをクリックします。
- 詳細設定 CAD 編集画面が開きます。

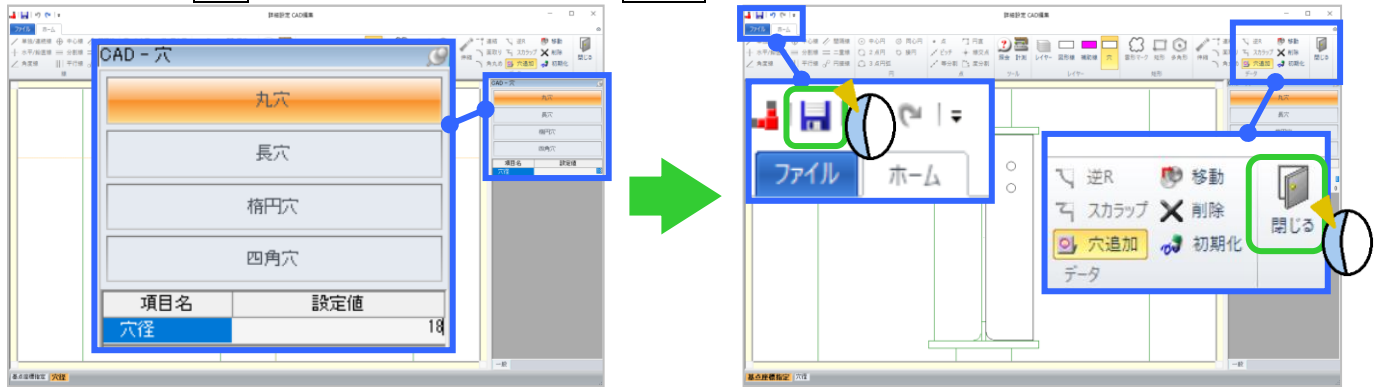
[穴] レイヤーで穴を描くとガセットやリブ(スチフナー)に穴を開けることができます。


- ③【レイヤー】 - 【穴】 をクリックします。




穴をあけたい位置をクリックし、穴の種類と穴径を設定しキーボードの **Enter** をクリックすると、リブに穴があきます。

編集を終えたら**保存**をクリックして保存してから、**閉じる**をクリックします。



 穴径は実際にあけたいキリ穴サイズで入力してください。

 穴を入力する際、入力する位置はオフセットを使用することで補助線を使わずにポイントをとることが可能です。

リブ・スチフナー設定画面で **OK** をクリックし終了すると、リブに穴が開きます。

